

## 第1回 白糸小学校のこどもたちの未来を考える協議会

日時：令和8年2月18日（水）

午後7時から8時30分まで

場所：白糸会館

### 次 第

1 開会

2 教育長あいさつ

3 自己紹介

4 会長及び副会長選出

5 議事

(1) こどもたちの未来を考える協議会の進め方・・・資料3

(2) 白糸小学校の再編に関する教育委員会からの提案・・・資料4

6 次回の予定

7 閉会



## 白糸小学校のこどもたちの未来を考える協議会 委員名簿

任期：令和8年2月18日から協議が終了するまで

区分	氏 名	備 考
1号	田村 勇太	
	安藤 沙弥	
	石川 裕美	
	小長谷 拓司	
2号	伊藤 竜太	
	小池 あかね	
3号	馬飼野 公洋	内野区長
	古屋 博正	内野区副区長
	遠藤 寛	狩宿区長
	大槻 吉一	狩宿区副区長
	佐藤 清隆	半野区長
	渡邊 寛	半野区副区長
	齋木 隆久	原区長
	遠藤 佳之	原区副区長
4号	渡辺 佳正	富士宮市議会議員
	渡邊 里乃	主任児童委員、地域コーディネーター

## 【参考】

こどもたちの未来を考える協議会設置要綱（抜粋）

（所掌事務）

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議し、教育委員会に意見書を提出する。

(1) 対象校の再編の方向性に関する事項

(2) その他対象校の再編に関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が依頼する。

- (1) 対象校の児童又は生徒の保護者
- (2) 対象校の通学区域内に居住する未就学児の保護者
- (3) 対象校の通学区域内の地域住民の代表者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

## こどもたちの未来を考える協議会設置要綱

## (設置)

第1条 富士宮市立小中学校の再編を進めるに当たり、学校再編の対象となる学校（以下「対象校」という。）ごとに、こどもたちの未来を考える協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議し、教育委員会に意見書を提出する。

- (1) 対象校の再編の方向性に関する事項
- (2) その他対象校の再編に関し必要な事項

## (組織)

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が依頼する。

- (1) 対象校の児童又は生徒の保護者
- (2) 対象校の通学区域内に居住する未就学児の保護者
- (3) 対象校の通学区域内の地域住民の代表者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

3 委員は、無報酬とする。

## (任期)

第4条 委員の任期は、依頼の日から第2条に規定する所掌事務が終了するまでの期間とする。

2 委員が欠けたときは、必要に応じて補充するものとし、その任期は前任者の残任期間とする

## (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、教育委員会事務局教育部教育総務課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則 (令和7年10月10日教育長決裁)

この要綱は、教育長決裁の日から施行する。

## こどもたちの未来を考える協議会の進め方

### 1 目的

こどもたちの未来を考える協議会（以下「協議会」という。）は、学校再編の対象となる学校区の地域住民、児童の保護者及び未就学児の保護者等を委員として、こどもたちの未来を第一に考え、地域主導で学校再編の方向性を協議する場です。

### 2 協議内容

- (1) 学校再編に関する方向性
- (2) その他学校再編に関し必要な事項

### 3 開催回数・期間

基本的には、開催回数は3～5回程度、期間は半年～1年程度を見込みます。ただし、協議会の進捗状況によってはこの限りではありません。

### 4 協議会の進捗状況の周知

協議会の進捗状況を地域住民に周知するため、協議会の内容をまとめた「こども協議会だより（資料3-1）」を作成し、市のHPへの掲載や白糸地区への回覧を実施します。

### 5 協議の終了

学校再編の方向性が決定したら、意見書（資料3-2）を作成します。その後、意見書の内容が決定したら、協議を終了します。

### 6 意見書の提出

決定した意見書については、会長・副会長が教育長に提出します。

### 7 協議会終了後の流れ

#### (1) 代表者会議

学校統合を行う学校の協議会から代表者をそれぞれ選出し、代表者同士で統合時期等を決定する。

#### (2) 統合準備委員会

(1)の代表者に学校関係者を加え、学校の統合を円滑に進められるよう、学校の統合に関する具体的な事項を決定する。

### 8 会議の公開

会議は原則公開とします。



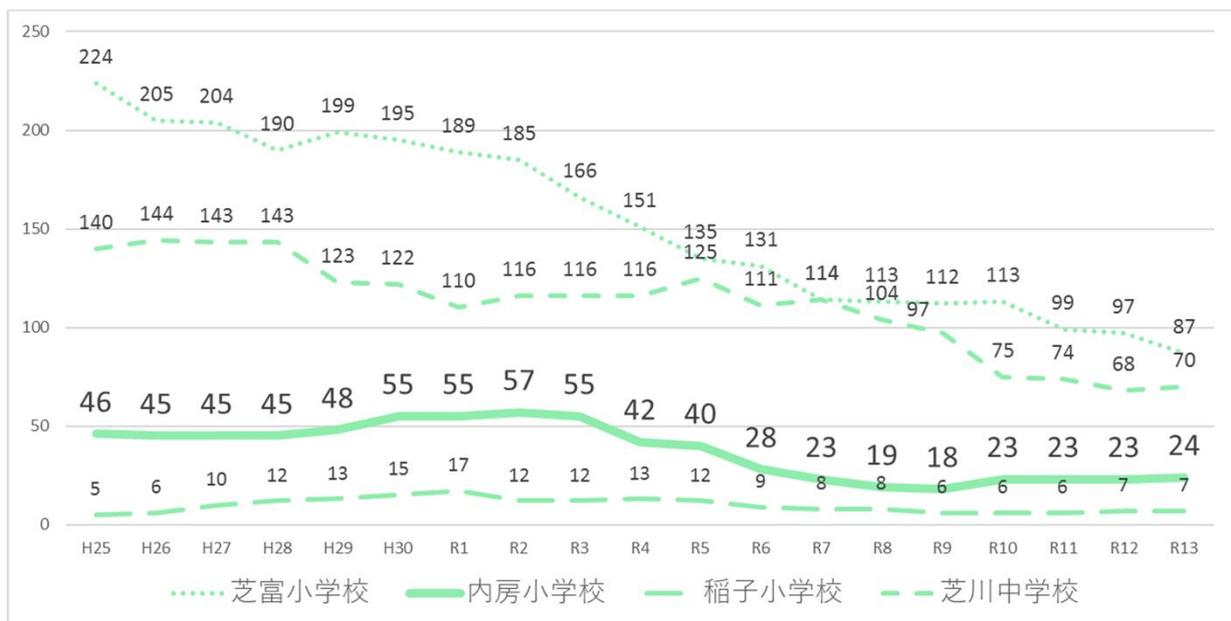
# 内房小学校

## こども協議会だより

### 学校の再編の背景

少子化による児童生徒数の減少に伴い、富士宮市では令和6年4月に「富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を定め、複式学級が存在する学校等の再編を進めています。内房小学校でも令和7年5月1日現在の全校児童数が23人で、全てのクラスが複式学級となっています。

表 芝川中学校区の児童生徒数の推移



### こどもたちの未来を考える協議会を設置

このような状況を踏まえ、内房小学校の児童の保護者や内房地区にお住まいの方々との意見交換会を経て、内房小学校の再編の方向性について話し合う内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会（こども協議会）を設置しました。

### 令和7年11月5日第1回のこども協議会を開催

内房小学校の児童の保護者や内房地区在住の未就学児の保護者、内房地区の区長、内房地区在住の市議会議員計11人を委員として、第1回のこども協議会を令和7年11月5日に開催しました。

## 会長・副会長を選出

教育委員会から、会長を望月内房第2区長、副会長を高木PTA会長として提案し、委員の皆様にご承認していただきました。

## 教育委員会からの提案

教育委員会では、これまでの意見交換会から統合についてスピード感をもって進めてほしいという意見を踏まえ、教育委員会から内房小学校について芝富小学校への編入統合を提案しました。また、提案としては、①令和9年4月統合案、②令和10年4月統合案の2案を示しました。

## 委員からの意見

これに対して、委員からは次のような意見が出されました。

- ・内房中学校と稲子中学校と芝富中学校が一緒になって芝川中学校になったように三校が一緒になって芝川小学校になったら良い。
- ・意見交換会では今回のような具体的な提案がなかったので、この提案を受けてもっと意見が出せると思う。
- ・人数が多ければ多い方が良いのは分かるが、現状で困ってないと言っている人もいます。
- ・富士宮市の子どもたちが同じような環境で教育を受けさせたいと思う。
- ・反対する方にも寄り添うために反対意見に対する回答を示してほしい。

## 協議会に関するQ&A

Q1 この協議会で何が話し合われるの？

A1 内房小学校の再編の方向性や再編に関して必要なことについて話し合います。

Q2 今後はどのようなスケジュールで進むの？

A2 およそ2か月に1回の間隔で協議会を開催し、半年から1年をかけて教育委員会に提出する意見書の内容を決定します。

### 【次回の開催日程・会場】

- ・令和8年1月21日（水） 午後7時から
- ・芝川公民館内房分館

※当日の傍聴も受け付けています。

発行：富士宮市教育委員会教育総務課

住所：富士宮市弓沢町150番地

電話：0544-22-1182

Mail：e-somu@city.fujinomiya.lg.jp

令和〇年〇月〇日

富士宮市教育委員会 教育長 望月 俊伸 様

白糸小学校のこどもたちの未来を考える協議会  
会長 〇〇 ◆◆

## 白糸小学校の再編に関する意見書

現在、全国的に少子化が進んでおり、白糸小学校においても平成25年度には〇人いた児童が、令和7年度には〇人にまで減少しました。

こうした状況を鑑み、白糸地区の区長や白糸小学校の児童の保護者等を委員とする白糸小学校のこどもたちの未来を考える協議会を設置し、学校統合のあり方や白糸小学校のこどもたちにとってより良い教育環境について協議を重ねました。

協議の結果、白糸小学校について、西富士中学校区の小学校との統合を行うべきとの結論に至りました。

つきましては、その趣旨を御理解いただき、統合に際して下記の事項の実現に努めていただきますようお願いいたします。

### 記

- 1 統合により学校が遠くなってしまうこどもに対する通学支援を行うこと
- 2 放課後児童クラブについて措置をすること
- 3 学校跡地の利活用については地域の意見を踏まえて検討すること
- 4 統合までの間、各小学校との交流事業を充実させること
- 5 運動着等の学用品については必要な助成を行うこと



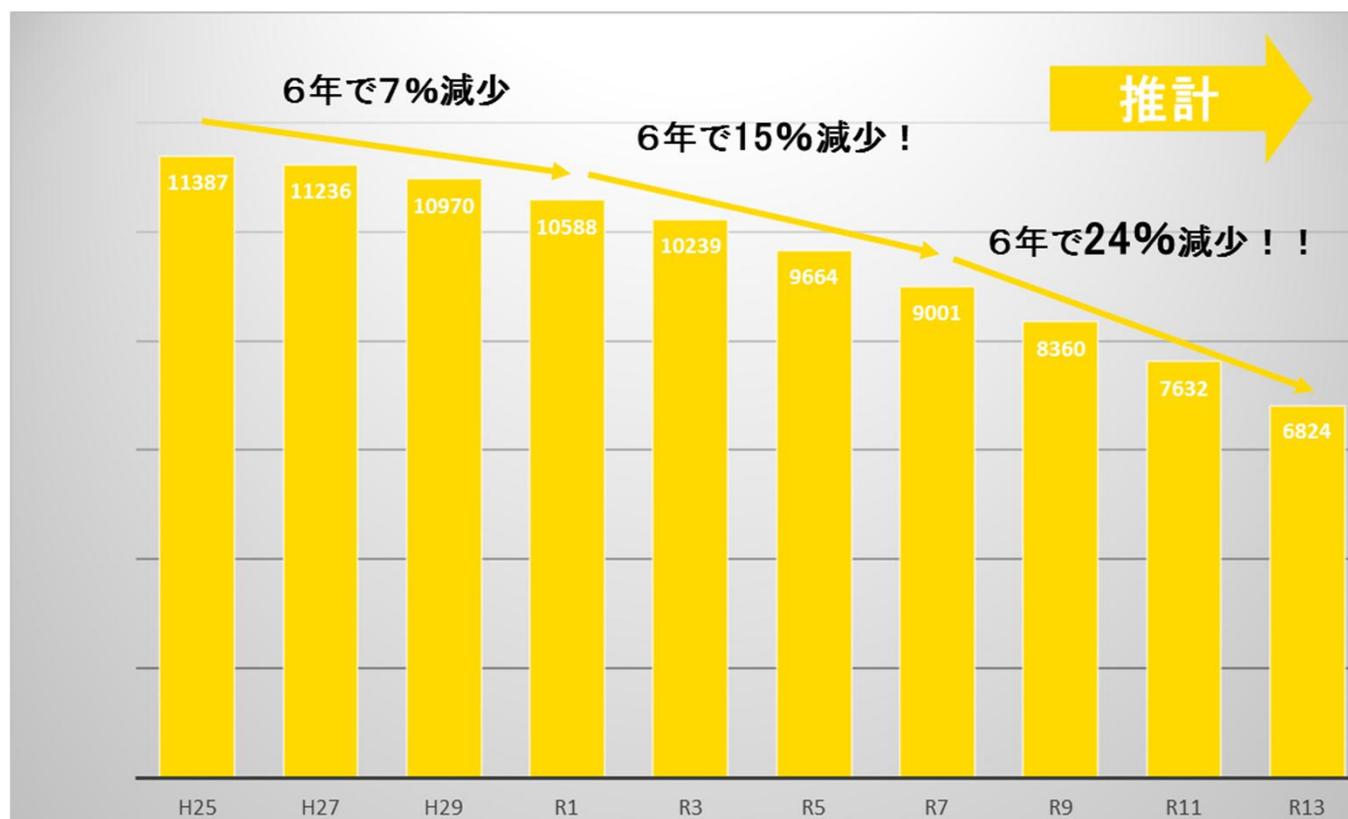
# 白糸小学校の再編に関する 教育委員会からの提案

- I 現状と課題～学校再編の必要性～
- II 学校再編によって得られる効果
- III 教育委員会からの提案
- IV (参考) 白糸小学校における意見交換の状況

富士宮市教育委員会教育総務課

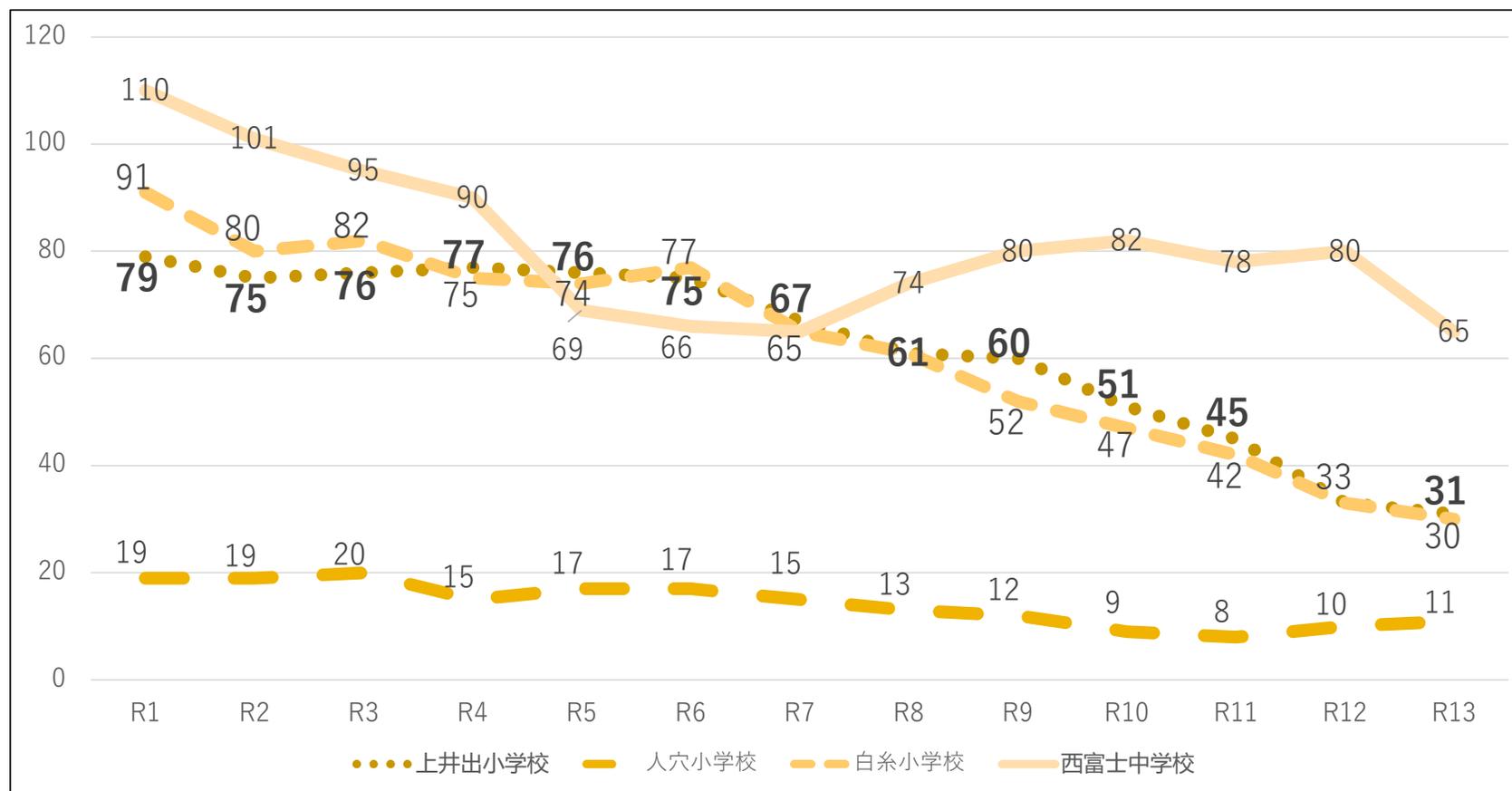
# I 現状と課題～学校再編の必要性～

## 1 富士宮市全体の児童生徒数の推移



# I 現状と課題～学校再編の必要性～

## 2 西富士中学校区児童生徒数の推移



# Ⅰ 現状と課題～学校再編の必要性～

---

## 3 今の時代に求められる学校教育～令和の日本型学校教育～

- ・令和の日本型学校教育とは…

すべてのこどもたちの可能性を引き出す、

**「個別最適な学び」と「協働的な学び」**の一体的な充実

### ◇個別最適な学び

児童生徒一人ひとりの学習進度や個性に合わせて学びを深めること

### ◇協働的な学び

児童生徒が他者と協力しながら学び、問題解決を行う取組

⇒そのため、1クラス当たりのこどもの数が減ることにより、二つの学びの一体的な充実が難しくなる可能性があります。

# I 現状と課題～学校再編の必要性～

## 4 学校施設の老朽化

校名	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年	経過年数	長寿命化 工事
上井出小学校	2,666	1978	47	H26
人穴小学校	2,106	1978	47	R3
白糸小学校	3,619	1971	54	R2
西富士中学校	4,858	1967	58	R4

## II 学校再編によって得られる効果

### 1 児童数の増加による複式学級の解消

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	児童数計
学年				年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	
上井出小	6	2	3	6	8	6	8	14	9	15	9	12	67
人穴小	2	4	2	1	0	2	1	2	3	4	1	4	15
白糸小	2	5	4	5	9	5	5	14	9	10	18	9	65
R7	10	11	9	12	17	13	14	30	21	29	28	25	147
R8		10	11	9	12	17	13	14	30	21	29	28	135
R9			10	11	9	12	17	13	14	30	21	29	124
R10				10	11	9	12	17	13	14	30	21	107
R11					10	11	9	12	17	13	14	30	95
R12						10	11	9	12	17	13	14	76
R13							10	11	9	12	17	13	72

小学校が統合することにより、将来的な複式学級の解消につながります。

## II 学校再編によって得られる効果

---

2 一学級あたりの人数が増えることによる教育効果の向上  
下記のようなメリットが考えられます。

- (1) 多様な価値観に触れることにより資質・能力を伸ばし、社会性を育む。
- (2) 一定の人数を確保することで、運動会、文化祭、修学旅行等の集団活動が充実化します。また、体育の球技や音楽の合唱、班活動などを制約なく行うことができる。

## II 学校再編によって得られる効果

---

### 3 小中学校の円滑な接続

下記のようなメリットが考えられます。

- (1) 小学校から中学校に進学する際に、新しい人間関係を一から構築するといったストレスが軽減される可能性があります。
- (2) 小中学校間の連携が円滑化し、9年間を見据えた学びの体制をつくることができます。

### 4 教育環境の整備の充実化

統合することにより校舎が集約されるため、教育環境の整備（例：トイレの洋式化、施設修繕）が加速化します。

### III 教育委員会からの提案

---

**以上を踏まえ、西富士中学校区は、  
小学校を1校に集約します。**

## IV (参考) 白糸小学校における意見交換の状況

---

- 1 学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会 資料4-1  
日程：令和6年10月7日  
対象：児童の保護者
- 2 少子化に伴う白糸小学校の今後を考える保護者との意見交換会 資料4-2  
日程：令和7年9月24日  
対象：児童の保護者
- 3 少子化に伴う白糸小学校の今後を考える意見交換会 資料4-3  
日程：令和7年11月27日  
対象：白糸地区の住民

**【白糸小学校】学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会の概要**

日 時：令和6年10月7日（月）午後7時から8時まで

会 場：白糸会館

参加者：9人

**主な意見****【統合について】**

- ・以前から児童数が減っていくことがわかっていたので、スピード感をもって適正化を進めてほしい。
- ・北部4校を統合したとしても数年後には100人規模にしかない。もう少し先を見据えて、北山小や上野小との統合も考えたかどうか。
- ・統合した後に学校が放置されて、老朽化してしまわないか心配。跡地活用のことも考えてほしい。
- ・今回の懇談会についてもっと早く開催してもよかったのではないか。

**【教員やこどもの数について】**

- ・少人数で教員の目が行き届いている反面、教員の数も少ないため、トラブルがあったときに先生がそこに対応してしまうと、授業が自習になってしまうことがある。
- ・10人程度の数は子どもにとってちょうどよいと感じる。一方で、1学年で一桁の人数になると、同じ学年に同性がいないかもしれないなどの不安もある。
- ・体育を2学年合同でやったりもするが、2学年合わせても人数が少ない。
- ・少ない人数で仲良くやっている一方で、クラス替えがあったほうが良いと感じる。
- ・クラス替えがあれば、今のクラスになじめなくても別のクラスに友達がいるから安心できる。それによって不登校も減るのではないか。

**【その他】**

- ・北部にしても、芝川にしても、家を建てられなくて、街中に建てざるを得ないという人もいると思う。市街化調整区域でも家を建てやすくするよう、市が対策を講じてほしい。



## 少子化に伴う白糸小学校の今後を考える保護者との意見交換会 報告書

日 時：令和7年9月24日（水）午前11時55分から午後0時45分まで

会 場：白糸小学校 体育館

参加者：9名

## 主な意見・質問

## 【現状の不安について】

- ・1年生のこどもは少ないので、ドッジボール一つとっても人が足りなくて、こどもがかわいそうだと思う。
- ・こどもたちは、今の環境が良いと思うので、統合するとなればそれはそれで柔軟に考えていって割と心配ないと思う。一方で、大人の方が大変なのではないかと思う。
- ・複式学級の授業を見学して、同じ教室内で違う授業をするとなると先生も負担だし、こどもも気が散ってしまうので学習面からみてもどうなのかなと思う。
- ・これから統合が進んでくるとなると、保護者としてもどうやって動けばよいのか分からない。

## 【学校の統合について】

- ・こどもの数が少なくなっているのは目に見えているため、こどもたちのためにも統合していく方向で良いと思う。
- ・人数が少なくなっていくので、統合を前向きに考えた方が良いと思う。
- ・スムーズにいろいろなことが決まっていったときに、最短でいつ統合できるのか。
- ・保護者と地域が一丸となって、反対意見があれば耳を傾けながら、早めの統合を進めていただきたい。
- ・少ない児童数にたくさんの職員を配置するよりも、ある程度の人数を確保した上でそこに手厚く支援していただくのが良いと思う。

## 【統合後の懸念について】

- ・統合することで学校が遠くなるこどもも出てくるので、通学手段まで考えて進めていただきたい。
- ・統合した場合の交通手段や白糸小学校がどうなっていくのかが心配。
- ・時間をかけていられないのではないかと思うが、統合となると校舎はどこか、そこまでの交通手段はどうするのか考えないといけない。

### 【市の進め方について】

- ・保護者は統合に賛成だが、他から強い反対を受けた場合に頓挫してしまう可能性はあるのか。
- ・教育委員会としては、最終的には統合を目指しているという認識でよいか。また、そういった計画があるのか。
- ・昨年秋に実施した地域説明会に参加して、上の方の意見が白熱して私たち保護者があまり意見を言えなかった。地域住民の意見も大事だが、当事者である私たちの意見を大切にしていきたいと思う。
- ・始めから統合ありきで地域に説明していくことはできないのか。
- ・今後説明する際の資料に保護者アンケートの結果を載せて、保護者はこう思っているというのを示したほうが良い。

### 【大規模な統合について】

- ・統合については、西富士中学校区の小学校を合わせても一クラスにしかないのもっと広く考えないといけないのではないかと思う。そうなるわけこう大がかりになるとは思っていて、皆で同じ方向に進んでいかないと、結局小さい学校同士でくっついてもあまり変わらないのであれば、そこまでやる必要があるのかとも思う。
- ・中学校についても、もっと人数がいた上での中学生らしい活動を、例えば、部活動もすごく寂しい思いをしていると思うので、北部で一緒にするような大きい視点で見ただけだと助かる。

### 【その他】

- ・保育園の方がもっと少子化が進んでいる。保育園との話し合いはしているのか。

## 少子化に伴う白糸小学校の今後を考える意見交換会 報告書

日 時：令和 7 年 1 1 月 2 2 日（土）午後 6 時から 7 時まで

会 場：白糸出張所 集会室

参加者：25 名

### 主な意見・質問

#### 【学校の統合について】

- ・子どもたちが減っていく状況は毎年実感している。子どもたちのことを思うと、この状況の中で先のことを考えて統合を進めても良いと思う。
- ・今学校の通っている子どもたちが大人になったときに、安心して学校に通わせられる環境が整っていないと地元に戻ってくる選択肢も薄れてしまうことを考えたら、先のことを考えて統合してもらいたいと思う。
- ・こどもの教育のために、ある程度揉まれる状況、仲間を作る状況を与えなければならない。それは、短期的に早急にやらなければならない。

#### 【再編の方法・範囲について】

- ・統合には賛成だが、どこに統合するのか考えると白糸小学校が、学ぶ環境が整っているため良いと思う。さらにこどもがいなくなってくることを考えると、西富士中学校を小中一貫校にしたり、上野小や北山小と統合したりする方が子どもたちのためには良いと思う。
- ・小中一貫校は考えていないのか。
- ・6年後の上井出、人穴、白糸のこどもの数を足しても60人程度にしかならないため、6年後にまた同じ話が出て、校舎の改修が必要だとか非効率的なことが起きてしまう。そのため、上野や北山も含めた広域的な統合をする必要がある。

#### 【教育委員会の進め方について】

- ・こどもの数が減っているのはだいぶ前からの話だが、統合などの話が出始めたのはついこの間だと思う。なぜこんなに遅くなってしまったのか。
- ・協議会を2か月おきに行うとのことだが、最終的にどのくらいのところで目途をつけるのか。目途をつけずにただ話を続けるだけでは、こどもに迷惑がかかる。
- ・協議会で出た結果をどうやって反映させていくのか。最終的な結論は行政判断になると思う。

・統合するのであれば前向きに考えていかなければならないので、今後の協議会の中で条件のような形でこうだったらいい、こういうふうにしてほしいという意見を出して、それを市で叶えられるものは叶えていただいて、この北部地域に希望が持てるような取組にしていきたい。

・統合している先進的な学校を視察して、どんな点に苦労しているのか、また、こんな大変なこともあったけどどう乗り越えてやってきているのかということを知れたら良い。

・6年後には白糸小も上井出小もこどもの数が半減すると分かっている中で、その場しのぎで再編をやっていくのではなく、ドラスティックに考えていかなければならない。

・勉強面は親の力で何とかなるかもしれないが、大勢の中でどういうふうに自分の個性を発揮して生きていくかというような経験は、いくら親が頑張ったとて経験させることはできない。そうした場合に、大きな枠組みの中で学校の統廃合を考えなければならないのではないかと思う。今話し合っているスピード感だと全然間に合わない。

・北山小や上野小の方まで再編について話を聞いているのか。

#### 【現状と今後の懸念について】

・こどもが少なくなってきた、体育の授業が2学年合同になったり、運動会が半日になったり、クラブ活動や委員会の種類も少なくなったりと、様々な制限が出てきている。

・統合した場合にはスクールバスなどは考えているのか。

・複式学級は学力の面からみていかがか。

・閉校になった後の学校の跡地利用をどうするかというのもあわせて考えていかなければならない。